

勿来市長に古川傳一氏当選 星氏を二千二百引離す

初代勿来市長選は三者接戦をくりかえしたが二十九日投票
即日開票の結果、古川傳一氏がさすがに大物の貫録をみせ
て当選、數ヶ月前から準備をしていたといわれる強敵星友
太郎氏を降した。

当選 九八七九票 古川傳一
次点 七五八四票 星 友太郎
三六三九票 横田定好

喜ぶ古川伝一氏は次のように語
つた
立派なためだけに苦しむに
したが、結果的には星君に
たいはつたが、私情はよくわ
かっている。星君の選挙活動は
大いに力をつけておられた。

星君という備前を持ったのは投
票の前のことだ。これからは
市民の皆さまの御期待を裏切ら
ぬよう一身を投じて市政に専
し、併せて常務委員職のため
に働きたい。

豪雨の被害続出

三十九日朝から三十日未明にかけ
て石城地方を襲った豪雨は海神
では八十四・八ミリ(小名浜側)
所轄に達し各地に被害を及ぼ
した。しかし山間部の雨量が四十八
ミリで比較的少なかったのが幸い
でもの幸いだ。

伊藤助役再任決定

さよう 平市会ひらく

平市協議会は三十日午前十時か
ら議事堂で一切の傍聴を禁じて
ひらく議事録問題の特種臨時
別委員会を設けて解決を努力す
る。臨時委員は現在五十名を
超え十五名に削減された。一
般選挙権者から八名を選定す
ると決めた。なお伊藤助役再任
議案から「議決機関にすべき
は」として議決された。

磐城高、再び優勝

さのう高校柔道大会

石城地区高体連、磐城柔道会主催
本市、平市教育委員会、奥松石
城出張所後援の第二回石城地区高
校柔道大会は二十九日午前九時か
ら平市警察署講堂で開催。審判
長は渡辺主幹、正々堂々といま
ずと力強い戦いをし、阿部審
判員から試合上の注意があつて試
合に移り磐城高、平市高、内郷高
勿来高、小名浜高、小名浜水産高
四倉の八チームがトーナメント式
リーグ戦で試合を進め磐城高が
つりあげの試合は熱闘を繰りま
五百余の観衆を動員し熱闘のルツ
ホに巻き込んだが前年度の優勝校

磐城高の技が大きいが平市高を六
一で破つて輝く二連覇を遂げ本
校優勝の活躍を見せた。この日
大会には平市高から三名、磐城
高から四名、勿来高から三名、
小名浜高から三名、小名浜水
産高から三名、内郷高から三
名、平市高から三名の選手があ
つた。試合は、阿部審判員から
試合上の注意があつて試合に移
り磐城高、平市高、内郷高、
勿来高、小名浜高、小名浜水
産高の八チームがトーナメント
式リーグ戦で試合を進め磐城高
がつりあげの試合は熱闘を繰
りま五百余の観衆を動員し熱
闘のルツホに巻き込んだが前
年度の優勝校

校庭五十坪流失

平市藤 間中で

三十九日未明の豪雨で平市藤間地区
藤間中学校の校庭が五十坪が
流失し、校庭が使用できなくな
つた。

今日の人

猪狩徳松
青年会小島分會長に選ばれたの
がキツツケで青年運動に専念
徳松つとむの愛称でメッキ
男を売り出した内郷市連青會
長、石城郡連青會長とトントン
握手を交す。石城に徳松あり
と賞賛を浴びた。この賞賛を
受けた。この賞賛を浴びた。こ
の賞賛を浴びた。この賞賛を
浴びた。この賞賛を浴びた。

いわき民報創刊十周年式

同業いわき民報創刊十周年記念
式は二十九日午後一時から平市
公会堂で催された。市長は
祝詞で、いわき民報の歴史を
振り返り、市民生活の発展に
貢献することを期す。市長は、
いわき民報の歴史を振り返り、
市民生活の発展に貢献するこ
とを期す。

音楽の店

平市駅前

松村病院

院長 八八八
内科 岸岡山村
外科 田崎山村
婦人科 田崎山村
小児科 田崎山村
呼吸器科 田崎山村
皮膚科 田崎山村
泌尿科 田崎山村
眼科 田崎山村
耳鼻科 田崎山村
歯科 田崎山村
放射線科 田崎山村
臨床検査部 田崎山村
藥局 田崎山村

磐城済世会 (平市南町三丁目)
電話 (平) 一〇七番 (受)
一八九番 (掛)
一六九番 (第二病棟)

東陽無線電氣

平市月見町 電話一六〇九

ヤマニ書房

平市駅前 電話七七七

六段羊羹

平市駅前 電話五〇九

六段本舗

平市駅前 電話五〇九

三井病院

平市田町 電話六一五

三井病院

平市田町 電話六一五

